

投稿

鳥取県は星取県になりました

～美しい星空を活用した地域活性化の取組み～

井田広之（『星』取県 観光交流局 観光戦略課）

1. はじめに

鳥取県は、平成29年4月から新たな地域活性化の取組みを始めた。そのプロジェクト名は星取県（ほしとりけん）。スターバックスが鳥取未進出の時代に、「鳥取にはスタバはないけど、日本一のスナバがある」という名言が全国で話題となった平井伸治知事のいる鳥取県らしい、だじやれの効いたネーミングである。

本寄稿では、星取県の立上げ及び運用を担当してきた筆者の視点から、鳥取県が官民連携で取り組んでいる同プロジェクトについて紹介する。

2. 鳥取県の星空について

美しい星空が見られる地域は全国に存在するが、その中で鳥取県の星空には、以下の特徴がある。

2.1 全ての市町村から天の川が見える

鳥取県内には19の市町村があるが、全ての市町村から天の川を見ることができる。一方で、日本人の約7割の人々は、人工光の影響で空が明るく、天の川を見ることができない環境にあるという[1]。

2.2 県全域で夜空が暗く流れ星も見やすい

流れ星は暗い星も多いが、鳥取県は全域で夜空が暗いため、流星群の時期でなくとも流れ星を普段から目撃することができる。

2.3 環境省の星空調査で、何度も日本一

環境省がこれまで実施した全国星空継続観察において、鳥取市さじアストロパークは、

いわゆる星の見えやすさにおいて、定点観測地として何度も日本一に輝いている[2]。なお、全国星空継続観察で一位になったことのある県庁所在地は、鳥取市のみである。

3. 星取県への挑戦

鳥取県では、このような星空の美しさを観光や産業の資源、地域のにぎわい、子どもたちの夢を育む素材など様々に活用することにより、新しい未来を開くチャレンジを「星取県」プロジェクトと命名し、平成29年4月より開始した（図1）。

星取県は、星空・宇宙に関する豊富な知見と経験を持つ鳥取市さじアストロパークと連携を図りながら進めており、これまでに以下の取組みを実施してきた。（記載内容は、平成29年12月15日現在）



図1 星取県のイメージポスター

3.1 星取県推進会議の立上げ

星取県の取組みを官民連携で進めるとともに、鳥取県内における機運を醸成するために、星空に関する各分野で活躍する多様なメンバーで構成する会議を設け、意見交換を開催している。これまでに、星取県を盛り上げていくための取組みや、美しい星空の見える環境を保全するための星空保全条例の制定等について検討を行ってきた。

[メンバー] 星に関する県内有識者・観光関係者、本県にゆかりのある星空関係者、鳥取県

3.2 星取県の情報発信及びブランディング

(1) 「星取県」首都圏メディア発表会の開催

星取県の認知度向上と観光誘客に繋げていくため、東京都内で「星取県」首都圏メディア発表会を開催した。ここでは、タレントの篠原ともえさんを「星取県スター大使」に任命し、星取県のPRに協力いただくこととなった。この発表会は、主要テレビ局の複数の番組で取り上げられたほか、大手スポーツ紙やネットニュースに多数掲載され、星取県の認知度向上に繋がった。

[出演者] 篠原ともえさん（タレント）、山崎直子さん（宇宙飛行士）、永野さん（お笑い芸人、特別ゲスト）、鳥取市さじアストロパーク山西正博副所長、平井伸治鳥取県知事

(2) 星取県フォトコンテストの開催

鳥取の美しい星空について全国にアピールし、星取県の認知度向上、観光誘客、地域活性化等に繋げていくため、星取県フォトコンテストを開催した（図2）。なお、特別賞は、星取県スター大使の篠原ともえさんに選定いただいた。（篠原さんは、星取県のシンボルマークもデザインされている[3]。）



図2 星取県フォトコンテストの受賞作品

(3) 星取県で楽しめる星空スポットマップを作成（紙版、スマートフォン用アプリ版）

鳥取の美しい星空を観光客や県民に楽しんでいただくため、県内の星空愛好者の方々の協力を得て星空スポットマップ（紙版、図3）を作成し、県内の空港、道の駅、観光案内所等に配布した。

更に、紙版のマップに掲載したスポットに加えて、県民がおすすめの星空スポットを投稿したり、観光客が鳥取の星空スポットを手軽に調べたりできるスマートフォン用の星空マップアプリも制作した。なお、星空マップアプリに投稿された情報は、星空スポットマップ（紙版）の改訂時に反映する予定である。

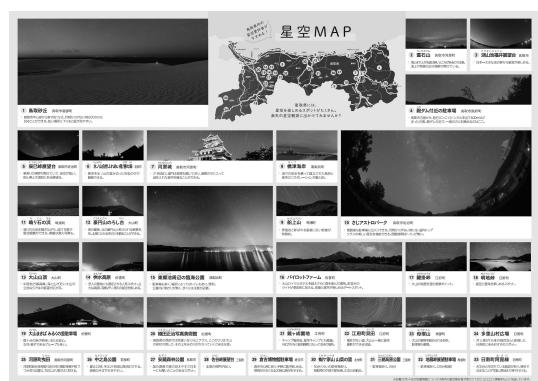


図3 星空スポットマップ（紙版）

3.3 星取県としての受入環境を整える

(1) 星空観光メニューの造成に対する補助制度創設

星空を活用した観光メニュー造成に取組む民間事業者・団体等を支援するための新たな補助制度を創設し、メニュー造成に必要な備品等の購入、商品開発、ガイド養成等に要する経費に対し補助している。

[補助率：2／3 補助額上限：100万円 平成29年度交付決定件数：7件]

(2) 星取県・観光事業者セミナーを開催

鳥取県内の観光関連事業者等が、星取県の星空を事業に活かすヒントを学べるセミナーを県内3ヶ所で開催し、80名が参加した（図4）。星取県の特徴や観光客向けに使えるツールを県から紹介した後、年間200以上の星空イベントを全国各地で実施・サポートしている（株）ビクセンの新妻和重社長から、「星空を活かす集客と収益化へのヒント」というテーマで講演いただいた。



図4 星取県・観光事業者セミナーの様子

(3) 星取県サイエンスキャンプの開催

鳥取県内の小学校5、6年生を対象に、本県の美しい星空を楽しみ天文・科学・環境分野などへの関心を高めてもらうとともに、地域全体で美しい星空を守っていく機運醸成に

つなげるため、サイエンスキャンプを鳥取市さじアストロパークで開催した（図5）。

[内容] 天体観察会（※雨天のためプラネタリウム鑑賞）、望遠鏡づくり、真空実験、分光器づくり、ドップラーボールづくり等

[協力] 鳥取市さじアストロパーク、わかつり科学技術育成会（県内の理科教育関係者等で構成される団体）



図5 星取県サイエンスキャンプの様子

(4) 鳥取県星空保全条例制定に向けた検討

美しい星空が見られる環境を保全するための条例の制定について検討中である。制定されれば、都道府県レベルでは全国初の条例となる。

4. 民間事業者等の取組み

星取県の特徴は、官民連携により、多数の事業者が当事者となって情報発信や星空を活用した取組みを行っている点にある。以下では、主な取組みを紹介する。

4.1 さじアストロパークの星空観察会等

さじアストロパーク[4]は、103cmの反射望遠鏡やプラネタリウム、宿泊施設等を備えた国内有数の公開天文台であり、来場者向けの星空観察会を毎日開催している。流星群の観測など時季に応じた特別イベントも多数開催

している。また、国内でも珍しい天体望遠鏡つきのコテージ（図 6）も人気があり、美しい星空を一晩中、心ゆくまで観察できる。



図 6 さじアストロパークのコテージ

4.2 大山星空で遊ぶツアー[5]

地元プロカメラマンと大山（だいせん）観光局によるオリジナルメニュー。星空ガイドのほか、大山北壁を背景に参加者がモデルになってさまざまな写真撮影・写真遊びを体験できる。冬季も含む毎月実施。

4.3 鳥取砂丘での星空ヨガ体験[6]

満月、新月、夏の夜に鳥取砂丘で体験できる「砂と波の月星ヒーリングヨガ」。鳥取砂丘をウォーキングしてポイントまで向かう。星空を見ながら寝ていると、宇宙と繋がったような気分になれる。春～秋の時期に実施。

4.4 スターウォッキング

世界屈指のラジウム温泉である三朝（みささ）温泉の宿泊者限定体験メニュー。三朝高原までマイクロバスでの送迎があり、バスの灯りを消した真っ暗な高原で美しい星空を楽しめる。温泉街から徒歩で行ける星空スポットでの観察会も実施中。

4.5 星取県関連イベント[7]

鳥取では、上記のような星空を活用した観光メニューのほか、星取県ならではのイベン

トも多数開催されている。

豪華寝台列車・瑞風も停車する、透明度が国内トップクラスの鳥取県岩美町東浜の海岸で開催された「グランピング・スタートツアーや、鳥取砂丘の星空の下、カジュアルに音楽やお酒などを楽しめる「宇宙祭」などがこれまでに開催されている。

なお、平成 29 年 11 月に鳥取砂丘で開催されたポケモン GO の大型イベントでは、夜間に砂丘に滞在したプレイヤーの方々が、その星空の美しさに感動し、思わず SNS で多数発信している。

(SNS で発信された声の例)

「鳥取砂丘着いた！ とりあえず星が凄すぎる！ 流れ星もいっぱい見れた！！！ 起きたらポケ GO に励みます」

「鳥取砂丘って言ったら、風に吹かれてできる砂模様、いわゆる風紋がすごく綺麗だけど空を見上げれば満天の星、丘の下を見下ろせば懐中電灯と携帯の光で天の川っていう鳥取砂丘の夜景、これは生涯二度と見られる事のない奇跡だと思いました。」

4.6 星取県とのコラボ商品[8]

星取県に関するおもしろい動きとして、民間事業者によるコラボレーション商品が次々と誕生していることが挙げられる。サッポロビールの黒ラベル「星取県 鳥取缶」や、セブンイレブンの電子マネー「nanaco 星取県デザイン」など全国でも有名な企業のコラボ商品のほか、大山乳業「白バラココア」や県内の住民グループが作った「星取県トートバッグ」など、多様な県内事業者・団体が星取県コラボ商品を展開している。

5. 星取県の未来

ここまで、星取県が始まってから今までの動きを紹介してきた。このような官民連携による多数の取組を行ってきた結果、鳥取県

が事業を開始して半年強で、「星取県」という言葉を知っている県民が9割以上[9]という驚異的な認知度となっている。また、県外でも全国放送のバラエティ番組への露出等を通じ、一定の層に認知が広がりつつある。

今後も、星取県の様々な取組みが続くので、読者の皆様にも注目いただければ幸いである。筆者は、このような積み重ねを通じ、「星空を楽しむなら星取県」というブランドを国内外で確立し、地域活性化に繋がっていけばと考えている。

また、星取県で星空や宇宙に触れて育った子どもたちが、将来、天文も含む各分野のスターとなって活躍することを夢見ている。



井田 広之

文 献

- [1] NHK クローズアップ現代 2016.7.7 放送
<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3835/>
- [2] 鳥取県公式サイト「星取県」って何?
<http://www.pref.tottori.lg.jp/266985.htm>
- [3] 星取県シンボルマーク
<http://www.pref.tottori.lg.jp/271086.htm>
- [4] さじアストロパーク
<http://www.city.tottori.lg.jp/www/content/s/1425466200201/>
- [5] 大山星空で遊ぶツアー
<http://www.daisen.jp/p/kyokai/3/3/>
- [6] 鳥取砂丘での星空ヨガ
<https://www.sand-dunes-yoga.com/yoga>
- [7] 星取県関連イベント
<https://www.hoshitori.com/>
- [8] 星取県とのコラボ商品
<http://www.pref.tottori.lg.jp/271087.htm>
- [9] 「星取県」の充実・保全のためのアンケート結果（最終版）
[http://db.pref.tottori.jp/pressrelease.nsf/5725f7416e09e6da492573cb001f7512/9de46a229b58dbd3492581d8003d2244/\\$FILE/171115_report.pdf](http://db.pref.tottori.jp/pressrelease.nsf/5725f7416e09e6da492573cb001f7512/9de46a229b58dbd3492581d8003d2244/$FILE/171115_report.pdf)

* * * * *